

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 音楽 学科 演奏 専攻

出身高校名 明誠学院高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私の周りにいる同志社女子大学の卒業生の方々が社会で活躍されている方が多く、とてもかっこよかったので、私も同じように活躍する女性になりたいと思い、志望校に決めました。

主に、吹奏楽やオーケストラ、個人レッスンなどレベルの高い音楽の授業を受けながら、総合大学のメリットを活かし、他の学科の知識も吸収して多くの知識を身につけられるところにも魅力を感じたので入学したいと思いました。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

高校2年生の時から同志社女子大学に強い魅力を感じ、この学校以外には考えず専願で受けようと思っていました。より早い合格をい、同志社女子大学の学生になりたいという思いから、いつでも早い入試方法を選びました。

1次試験の書類や2次試験の面接で自分のことを演奏以外からたくさんアピールすることができると思い、AO方式入学者選抜を選びました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

吹奏楽部で得ることができたコンワールの出場経験をもアピールしました。特に、高校1年生、2年生と2年連続で出場の銀賞を取ることができた全日本吹奏楽コンワールの経験を中心に話しました。

また、高校3年間で1人で寮生活してきた経験もアピールしました。

恥ずかしがらず、堂々とアピールすることを意識しました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

新型コロナウイルスの影響で学校が2ヵ月間臨時休校となり、家でずっと書類を作るだけで、本格的に始めたのは休校が明けた6月からです。

自分の思いが100%伝わっているかを1番に考え、国語の先生に毎日添削していただいたり、いろんな人に読んでもらったりしながら作りました。今までのコンワール等の実績書類が役立ったと思います。

〔面接〕

1次試験の合格発表後すぐに2次試験があるので、1次試験の合格発表が行われる前に面接対策を始めました。1日に1回は国語の先生や音楽の先生、担任や顧問の先生など色々な先生に見てもらいアドバイスをもらいながら対策しました。

面接当日は笑顔で相手の言葉を聞いてハキハキ言うように意識しました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO方式入学者選抜は他の入試方式に比べて時期が早く、1次・2次審査と長い期間の受験となり大変ですが、書類・面接・実技と様々な面から自分の強みを出せる受験方法だと私は思います。入試の時は不安になることも多いと思いますが、「合格したい！」という強い気持ちを持って一歩を踏み出せば大丈夫です。元氣を長ってください！